

Y's Men's World



 **RBM**
ROLL BACK MALARIA PARTNERSHIP

報告書は6頁です

国際会長メッセージ



国際会長は、その年度発行の「ワイズメンズ・ワールド」にメッセージを寄せるという伝統があります。この伝統は、世界のすべてのワイズ・メンバーと直接に交流ができるという、私には大変に有り難い機会です。84代目の国際会長に選ばれ、この最高の職責をもって世界のワイズダムに奉仕できることは、多大の名誉です。また、優れた国際議員と国際事業主任の素晴らしいチームが与えられていること、これも私の大きな喜びです。

今年8月にスリランカ・コロンボで開かれた国際議会では、議員たちが互いに辛抱強く聞き、理解しようと努め、一致協力してワイズ運動の成長を齎そうと努力している雰囲気が充ちており、私は感動を覚えました。私の主題「一つとなる力」が、この国際議会のすべてに充満しています。この議会を終えるとき、「我々は同じ目的のために一致して働いている！」という実感に満たされ、感謝の思いを強くしました。

この国際議会で協議されたことのいくつかを記述します。

- ・次の国際書記長選出に関する手順の提示を承認。(本誌で、その広報をご参照ください。)
- ・国際本部の会計年度(期間)の変更が議決された。今年度から実施します。

会計年度 開始：4月1日、終結：3月31日。

この期間変更が国際本部全ての報告に徹底され、7月末に開く国際議会の前に持たれる会計監査にも、この新たな設定期間による報告と、監査が行われることになる。

- ・従来承認のクラブの名称に、Y Service Club Internationalを加える。この名称で新クラブをつくることできる。
- ・2012年のワイズ国際大会は、ノルウェイ・ロザランド部が応募したスタバングル(ノルウェイ)で開催することを、国際議会は満場一致で承認。
- ・国際議会の後、友誼あふれるアジア地域大会がシンナモン・グランドホテルで開催された。この開会式で、ベンソン・ワブレ元国際会長がIEOs(国際執行役員)の就任式を司式し、また、この開会式で元国際会長のチョイ・ハンキに、ワイズ運動に対する不断の貢献により、国際最高のボランティア賞が授与された。また、元アジア地域会長リタ・ヘティアラクチには、スリランカのワイズメンが国際議員一行を心から歓迎し、無事を守ったことへの感謝の言葉が述べ

られた。

次号「ワイズメンズ・ワールド」では、国際会長主題「一つとなる力」のもと、世界のワイズメンが一致団結して活動している姿を共有したいと願います。

IP Kevin 国際会長 ケビン

編集室から

国際会長ケビンが新しい任務を始めるにあたり、彼のメッセージをこの誌面に掲載しました。



今回、本誌は大変に重要なお知らせを掲載しています。その一つは、2010年11月に退任する国際書記長ロランド・ダルマスの後任を選ぶ公募のお知らせ、そして Roll Back Malaria プロジェクト(マラリア撲滅運動)報告と YES

賞獲得競争(YES Award competition)結果のお知らせなどです。

今回は誌面を飾る写真が通常より少な目でした。掲載できる写真が少なかったのです。皆様、写真を送ってください。色々な行事でワイズと一緒に働いている姿、ワイズのロゴが浮き出るような写真、初めて実施したワイズ・プログラム、ファンドづくりの特技アイデアの実例、他クラブに伝授したい特技とか、いろいろあると思います。「ワイズメンズ・ワールド」は、皆様からの意味ある情報を待っています。

*Yours in Y'sdom
Wally*

Y's Men's World
N° 1 2009/10

EDITORIAL BOARD
Editor
Alan Wallington
21 Overndale Road, Downend, Bristol BS16 2RU, England
Tel: +44 (117) 9568285 Skype: Ysmanwally
email: editor@ysmen.co.uk

Graphic Design Support
Graham Walker & Mike Bendrey

<p>Distribution Josey Joseph Pallankulam, PTR 96 Plamood, Trivandrum 695 004, India</p>	<p>Reprinted at ST Reddiar & Sons (EKM) Ernakulum, Cochin 682 035 India</p>
--	--

ONLY FOR PRIVATE DISTRIBUTION TO MEMBERS

Deadline for the Editor to receive material
for the next full issue is
31st January 2009

マラリア撲滅運動の行進
アフリカ地域編集委員 ツンジ・マキンデ、

2009年5月1日に恒例のウラオラの日祝賀会が国際マラリア撲滅事業のテーマのもとにラゴス



で開催され国連とのパートナーシップの関係を裏付けたものとなりました。当日の朝には100人以上の中学生たちがこのマラリアや HIV/ AIDS の撲滅行進に参加しました。午後にはアフォラビ・アジョマレ次期部長が進行役となり、マラリア大流行についてゲストスピーカーを招いてのセミナーが開催されました。他にはダンス、演劇、詩、音楽などが加わり大いににぎわいました。招待されたゲストや学生は楽しい日を過ごし、この日の収益は地元や国際のチャリティーとともに国際T O Fにもアフリカ地域から献金されました。

国際書記長のデスクから
国際書記長 ロランド・ダルマス

去る7月、スリランカで開かれた国際議会は共通の使命のために友好裡に働くボランティアリズムのまた一つの例でした。この議会で私たちは大きな刺激と非常に建設的で実りある結果をもたらす集会を経験することが出来たのでした。

4日間の会議中、様々の形で存在し、会議中非常に建設的な感情を創りだしてくれた3つの問題点を皆さんと共にすることが出来ることを嬉しく思います。

(1) ビジョン 2020 を通じてワイズ運動の変革を!

ビジョン 2020 はワイズの指導者たちの注目を集め続ける「北極光=オーロラ」であり続けます。

私たちは自分たちが今どこにいるのか、どこに行きたいと願うのか、2020年まで望みの地に到達するためには何を必要とするのかを知る必要があります。その望みの地に到達するために私たちは私たちの世界的な運動を変革させる必要があります。それは個人の変革を必要とするので容易なことではありません。私たちは地元の社会の優先事項と、どうしたらワイズメンがそれに適切な回答を提供することが出来るかを理解する必要があります。しかし、私たちは今日世界の優先課題が何であるか、ワイズメンがどのような回答をそれに与えるのかも理解する必要があります。

議会中、「ビジョン 2020 を通じての運動変革」グループはこの問題を討議しました。このグループの報告書から次の文言を引用したいと思います。

「組織の枠組みの変更が私たちの討議の中でのキーワードでした。奉仕団体として、我々は地域社会の変わりゆくニーズに応えるために変わらな

いままではいるという余裕などありません。我々が根本的な変化、つまり枠組みを変えることは絶対に不可避なのです。」

(2) 国連主導事業へのワイズの参加: ワイズが ECOSOC を通じて国連の諮問機関としての地位を与えられて以来、ワイズのあらゆるレベルのリーダーと会員は、世界的なレベルでワイズ運動がより活発になり、特に世界中で人々を襲っている危機的状況に対応して、他の NGO と創意を結合していることに気付いています。「ロールバック・マラリア・プロジェクト」へのワイズメンの参加は、ワイズ運動が関わるようになってこの新しい次元を表しているものであります。

議会開催中、第2グループは国連主導事業へのワイズメンズクラブの関与を討議しました。このグループの報告書から次の言葉を強調したいと思います。

「ロール・バック・マラリア・プロジェクト」はワイズの地球家族を一つにしました。「ロシ地域奉仕は良いPR ラブから外に出てこのプロジェクトのためにお金を集める絶好の機会を持ちました、」「ワイズメンが国連の傘の下で地球的な問題に関与することが大事です。」

この言葉はすべて、国連主導の事業にワイズが

関わることを通してワイズのリーダーたちが奉仕の新しい次元を探し求めているということを私たちに語っています。

(3) ワイズと YMCA のパートナーシップ: YMCA 世界同盟リエゾンのサミュエル・ステューブズ師は国際議会中に、YMCA 世界同盟世界運営計画に対する支援、特にアフリカの YMCA の切実な必要に対するワイズメンの支援を強調する心に励まされ、動機づけしてくれる提案を行いました。

ステューブズ師は中国における YMCA とワイズメンズ運動を拡大する特別な努力において世界同盟、アジア・太平洋同盟との協働を継続するようにと要請しました。同じように、YMCA とワイズメンズクラブは別の国連主導事業にも共同参加する機会を探し求めるべきです。

ワイズメンと YMCA のパートナーシップの関係は独立の関係ではなく、相互依存の関係ですから、継続しなければなりません。この両者の共生関係は将来にわたって促進され発展され続けなければなりません。

「ビジョン 2020 を通しての運動変革」、「国連主導の事業へのワイズの関与」、「ワイズと YMCA のパートナーシップ」のような主題を私たちワイズのリーダーたちが熱心に議論し始める時、私はワイズメンズ運動に明るい未来を見るのです。

地域奉仕はよいPR

国際 PR 事業主任 ジョーシー・ジョセフ

地域奉仕は私たちの、最も多くの人々に開けた顔であり、効果の高いPRの方法です。最近の国際議会で、各クラブに、その地域で役に立つ地域奉仕を通してワイズメンズクラブのイメージを高めるようお願いすることに決まりました。地域におけるワイズメンズクラブの露出レベルが十分でないことは大きな問題の一つです。私たちが、社会奉仕に真剣に関わり、それに献身するクラブであることは、人々にはっきりわかってもらっている必要があります。社会的に評価の高い、奉仕の意欲に満ちた人々やボランティアは、わたしたちのクラブが行う地域奉仕に魅力を感じてこそ、

わたしたちの仲間に入って下さるのです。

地域奉仕はそれぞれの地域のニーズに応じて計画するものです。地域でどんな活動をなすべきかを決めるのは、まさに皆さんです。しかし、ほとんどどの地域にも共通する奉仕をいくつかあげて見ましょう。

住居、衣服、食料などを必要な人々に捧げること。飢饉、地震、旱魃、洪水等の自然災害の被害を受けた人々への援助。老人ホーム、病院、孤児院等を訪問し、そこに住んでおられる人々に話しかけること—それは、しばしば孤独で、友達のないその人たちに喜びや慰めや平安を与えることとなります。こういったプロジェクトにはお金は必要ではなく、しかも両者にとっての満足という効果があります。孤児院、虐げられた人々、障害を持つ人々、長い病に苦しむ人々への金銭的援助もなすべき地域奉仕です。もし可能ならば、末期症状に苦しむ人々、終身寝たきりの人々への介護—苦痛を和らげる介護—も本当に人道的な奉仕と言えます。恵まれない人々、字の読めない人々が住んでおられるところで研修会や啓蒙活動を行うのも一つの奉仕です。字の読めない人に対する識字教室、環境保護、無排煙自動車、カーボン・ニュートラル地域もまた実現すべき課題です。ワイズ伝統のタイム・オブ・ファスト(TOF)やアレグザンダー奨学資金(ASF)は本当に価値の高い奉仕です。

アイロンがけローラーをタンザニアへ

Erik Tidemand(デンマーク、ストルーア・ワイズメンズクラブ)



2009年2月、デンマークのストルーア・ワイズメンズクラブは設立50周年記念を祝い、タンザニアにあるヌアカハンガ病院にアイロンがけのローラーを贈呈しました。同クラブの会員である、Vagn

Olsenワイズマンは、2007年11月にダンチャーチ・エイド（訳注：市民社会を通じた人権の促進、食料、教育、プライマリー・ヘルス・サービス、緊急支援を行うデンマークの教会関係のNGO）と一緒に同病院を訪問し、同病院に最も必要なのがアイロンがけのローラーであることに気づきました。



きれいにアイロンのかかったベッド・シーツは贅沢に思われるかも知れません。しかし、熱帯ではそうではありません。激しい熱帯降雨のあるこの地域に多く棲息するマンゴー・フライ（訳注：正式にこの呼称に対応する蠅の種類を特定することはできませんでしたが）は室外に干してある衣類に卵を産み付けます。そのようなシーツや衣類に人間の肌が触れると、卵は皮膚を貫通して人間の体内で寄生虫に成長します。しかし、シーツにアイロンをかけると卵は死んでしまうのです。

このアイロンがけのローラーは、病院から1,500Km以上離れた首都ダル・エス・サラームから送られ、現在は立派に作動して、ヌアカハンガ病院の沢山の患者の皆さんのお役に立っています。ストルーア・クラブからの捧げものには、ローラー自体、ローラーの運送費、技術者の費用、すべてが含まれ、総額15,000米ドル以上となりました。

同病院の経営者からストルーア・クラブに大きな感謝が寄せられ、このアイロンがけローラーがどれほど欲しかったかが報告されました。この病院はタンザニアのルーテル教会が経営する地域病院で、北西タンザニアの奥地にあります。

国際メネット・コーナー

国際主任 キャロル・レイノルズ

今年が国際主任としての私の最後の年だなどということはとても信ずることは出来ません——それは私が決して忘れることのない経験でした。この素晴らしい運動に奉仕する機会を得たことに対し皆様すべてにお礼を申し上げます

スリランカで開かれた国際議会とアジア地域大会に出席し、たった今帰ってきたところです。私にとってこの議会のハイライトは「国際議会に出席するメネット事業主任の旅費は国際協会が支払う」という動議が通過したことでした。これは私たちメネットにとって大きな一歩です。

アジア地域大会は大盛会でした。私は「メネットの組織」と「コミュニケーションの重要性」についてのトレーニングを行いました。その後、スリランカのメネットがサリーの着付けを実演し、また全員で色彩ガラス工芸を行いました。

素晴らしいニュースがあります——メネット国際事業主任が決まりました。次期国際会長の夫人、藤井祥子さんです。祥子さんはご夫君、メネット全員、アジア地域の支持を受けて立派に任期を務められることを私は知っています。次期主任になることによって祥子さんはこの運動の中で何が行われているのか、また彼女に何が求められているのかをこの1年理解されることでしょう。

メネットの国際プロジェクトの状況をご報告することが出来ます。昨年の私たちは「私たちの使命を果たすためにもっと多くの寄付を」と訴えました。それをなし遂げたとご報告できることを嬉しく思います。皆様が惜しみなく捧げて下さったお陰で、今や新しいプロジェクトを始めることができる素晴らしい状況になりました。メネット・コーディネーターのシャーリー・アンマックさんがプロジェクトをいくつか選び、全クラブに情報を流し、どのプロジェクトを皆様が実施したいと思われるかを投票できるように致します。

最後に、メネットの皆様にコミュニケーション・ラインが有効に機能していることを確かめて下さるようお願い致します。それこそがメネットが強くなる唯一の道なのですから。

束縛されていませんか？（注）

ラッセル・クロール（オーストラリア）
カンガルー・フラットYサービスクラブ

我がクラブの会員、ピーター・マーティンはボーイ・スカウト運動に関わって長い歴史を持っています。彼が「ロープ結び例会」というアイデアを持ち出したとき、即座に賛成の声が挙がり、たちまちにぎやかなおしゃべりが始まりました。人々は自分のお気に入りの結び方を語りました。その中には、釣り糸の結び方とか、トレーラーに荷物を結び付けるとか、キャンプのロープの結び方とかいろいろな結び方がありました。



ピーターは、細いのや太いの、長いや短い、沢山のロープを持ってきました。彼はいろんな質問をしたり、私たちの成功や失敗を笑ったりしてたちまち私たちを夢中にさせました。ピーターは細いロープを太いロープに結びつけるのに用いられる結び目や、同じ太さのロープを結びつけ、荷重のかかる状態でも安全な結び方、などを教えてくれました。

ピーターは最初から私たちを夢中にさせてくれました。私たちの最初の課題は「追いはぎ結び」でした。何人かの会員がこの結び方がいかに巧妙な結び方であるかを話していたので、最初にこの興味ある結び方に挑戦することになったのです。私たちはボーライン、クローブ・ヒッチ、リーフ・ノット、シープ・シャンク（トラッキーズ・ノット）などその他の巧妙な結び方を沢山学びました。死刑執行人結びはやりませんでした。でも何人かはお互いに縛りあげる実験はしていました。それは大成功のプログラムで、更に、興味あるクラブ例会はいとも風変わりなアイデアから生まれるのだということを実証したのです。

(注) 英語の表題は Are you tied up? です。◆(固定觀念に縛られている、◆(時間に縛られている=忙しい、などいろんな意味とロープ縛りをかけています。

BF代表旅行報告

それは夢の実現だった

オルガ・ヴァチコヴァ ロシア区理事

多くのワイズ関係者にとってロシアは遠く、未知の世界でしょう。私にとって南米はまさにそういう存在でした。ペルー、チリ、ボリビア、ブラジルなど異国情緒の国々をもつこの大陸を訪れ、歴史的景勝地を視察し、インカ帝国やスペインの征服者やチリの革命家たちの子孫に会うのは長年の夢でした。

昨年私のBF代表応募を認可くださった国際役員の皆様と、ラテンアメリカ区・ブラジル区内で私の旅行をお世話くださった何十人のワイズメンのお陰で、私の夢は実現されました。1ヶ月もの旅行によって、私は上記4国のワイズメンの活動を知る機会に恵まれ、貴重な経験をえました。私は自国ロシアだけでなく、全欧州のワイズメンを代表する大使になったような気がしました。出席した会合では、私は欧州での指導者研修や最近の国際・エリア大会の様態を語りました。ロシアのワイズ運動の歴史や自クラブの活動について私が語りますと、南米の皆さんは、ノルウェーのワイズメンがロシアにワイズを熱心に広めてくれたこと、ユースの良い働き、私のクラブが孤児や才能のある子たちや高齢者への支援をはじめ地域社会で多くのCS活動を展開していることを学んでくださいました。

南米の皆さんと私は異なる大陸に住んでいますが、諸課題は似ています。話し合いからそれらの解決への新しいアイデアが得られました。リマ、ラパス、コチャバンバ、サンタクルス、サンチアゴ、イキケ、サンパウロでYMCAを訪問できてたいへん有意義でした。ほとんどの所でワイズメンはYMCAとしっかり結びつき、良い関係を保っています。訪問先のどの国でも、ワイズメンとYMCAは貧しい人々と孤児たちを支援しています。私はリマ、コチャバンバ、イキケ、サンパウロで孤児院や貧困地帯の支援センターを訪ねることができました。コチャバンバではワイズメンと共に、貧しい子たちに食物や玩具を届けました。感動的な出会いでした。



私のような新参のワイズリーダーにとって、サンパウロでのラテンアメリカエリア大会への参加は非常に価値ある経験でした。初体験の運営法、よく練れた大会組織、すばらしい伝統、皆私には啓発的なレッスンになりました。

この1ヶ月間の出来事を書き尽くすことは不可

能ですし、個人のお名前を出すことは不公平を避けるため控えます。しかし私のこのBF訪問に際し示されたすべての方々の友情とホスピタリティーに、心からのお礼を申し上げます。もし貴方がロシア訪問の夢をお持ちでしたら、どうぞご努力ください。どなたでも、いつでも歓迎します。

「ロールバック・マラリア」

ワイズメンズクラブ国際協会国連委員会委員長
オーレ・ハンセン

ワイズメン、ワイズメネット、ユースとご協力いただいたすべての皆様のご協力で「ロールバック・マラリア」は大成功に終わりました。2008年10月24日から始まった(RBM)プロジェクトは、少なくとも20,000枚の蚊帳(キット)を買うために150,000US\$ (165,000のCHF) を目標に始めました。結果はゴールの114%に達し、目標を超えて25,000~30,000のキットを提供できます。下記は、ISG RolandoのICM 09レポートです。数値はスイスフランで、各地域の成績です。

アフリカ 918、アジア 34,413、カナダ・カリブ 17,457、ヨーロッパ 86,545、インド8,263、ラテンアメリカ1,785、南太平洋5,299、アメリカ 27,350 その他 6,328、合計 188,357でゴール165,000の114%になります、RBMに最大の貢献をしたAreaはヨーロッパです。しかし、メンバー当たりの成績は、メンバー当たりUS\$11の南太平洋でした。

ジュネーブでの会議では(RBM)が最も効果的に使われるか他の国際的組織と協議した結果、シエラレオネでのマラリアキットの配布を実施する赤十字と赤新月社連盟(IFRC)の国際的パートナーシップを支援することに決定されました。IFRCは、弱い人々の間で人道的な活動を推進しています。また、国際的な祭儀援助活動を調整したり、開発援助を奨励することによって、人間の苦しみを防ぎまた軽減しようと努めています。

IFRCはRoll Back Malariaのパートナーです、そして、シエラレオネは彼らがマラリアを根絶するために活動している国の優先リストの上位にあります。また、シエラレオネの政府は、(RBM)プログラムを強く支持しています。

2009年7月21日の公式式典で、183,000スイスフランの小切手は、ジュネーブのIFRC本部で、人権外



交事務総長立会いの下、トリグベ G. ノードバイ氏に手渡されました。IFRCは、シエラレオネのフリータウンワイズメンズクラブおよびシエラレオネのYMCAにマラリアキット配布の仕事を委託した。配布に先立ち4日間の研修をし、9月(これは、TOF 第2の配布です)にキットを配布し実施しました。

ワイメンズクラブ国際協会は国連経済社会理事会の特別諮問機関となったので異なる

った分野でのNGOとしての私たちの経験を分かち合う機会を得ることが出来るようになりました。それと同時に、ECOSOCの諮問機関の一部なので、私たちの運動もすべてのレベルで内容が豊かになり、ワイズも国際的に今までよりも適切なイメージとアイデンティティで人々の目に映るようになりました。

(RBM) プロジェクトの優れた成果は『HIV/エイズ、マラリアと他の病気と戦う』の国連課題とその2000のミレニアム開発目標に寄与しました。ワイズメンズクラブ国際協会 国連委員会を代表して、Roll Back Malaria基金調達のプロジェクトに参加したすべての人に、心から感謝します。我々は、これがより良い世界を作るために貢献したことを本当に誇りに思います。

表紙の写真はシエラレオネでマラリアキットを受け取り感謝している婦人です。

TOFの祈り

数年前北欧のあるクラブを訪問した時に捧げられた食前の祈りです。

食べるものはあるけれど、
食べることが出来ない人がいます。
食べることは出来るけれど、
食べるものがない人もいます。
神様、あなたに感謝します。
私はとても幸せです。
私は食べることが出来て、
そして食べるものもあるからです。

私たちワイズメンはなんと幸せでしょうか。毎日、食卓について食事をすることが出来るなんて。しかもめったに食卓につくことが出来ない人たちのことをいつも考えたりせずに。タイム・オブ・ファーストに惜しみなく捧げましょう。

出典：ラテン・アメリカ/カリブ地域 TOF 事業主任
グラディス・ウッド・デ・デシデリオ

環境悪化削減のために

グリーン・チーム代表 コリン・ランビエ

ワイズメンズクラブ国際協会は、炭素排出量減少のためグリーン・チームを立ち上げました。リーダーやBF代表が移動に利用する航空機が環境に悪影響を及ぼしていると考えているからです。

そのため次のような事柄を挙げています。

1. 出来る限りワイズメンが移動する機会を減らす。
2. 温室効果ガス排出 (GHG) を減らす事を考え、それに投資する。
3. ワイズメンの活動で排出した温室効果ガスを吸収する事業に投資するため、グリーン・チームはクラブ、部、区、地域をあげて、次のような基準を挙げて働きかけています。

- A. 1トンあたりの温室効果ガス排出を押し返す費用
- B. 温室効果ガス排出を減らすことについての試算
- C. 緊急問題と長期計画を、それぞれの生活に生かす

D. ワイズメンズクラブ国際協会、YMCA、地域コミュニティ活動団体へ働きかける
2009年末までに、その事業が承認されるでしょう。詳細については、ホームページ (www.ysmen.org.au) からグリーン・チームのサイトをご覧ください。



〈写真説明：オーストラリアのビデオ会議で8時間の飛行燃料を削減〉

〈編集者注；東日本区でも環境キックオフキャンペーンをしています。〉

EF(信託基金)結果報告

EF (信託基金) 国際事業主任
ジュニア・フィッシャー

2008～09年度が終わり、EF基金に献金していただいた皆様方に、お礼を申し上げさせていただきます。この年の目標基金91,500CHF (スイスフラン)に対して、88%の80,907CHFに達しました。全てのプログラムに対する献金総額は目標金額834,700CHFの、84%699,306CHFでした。

確かに、今年は目標金額に達する事が出来ませんでした。今年がロールバック・マラリアの年

であるがゆえ、今期のEF事業主任はより上を目指さなくてはなりません。

ほとんどの献金や寄付は100USドルが使われます。これは素晴らしいことですが、ほとんどクラブから寄せられています。

私は、もっと多くの人達にEFに100USドルを献金して頂き、ポール・ウィリアム・アレキサンダー・フェローになっていただくことをお勧めします。

そうすれば、認証状の入った額を壁に掲げ、アレキサンダー・フェロー・ピンを胸につけられることでしょう。

アレキサンダー・フェロー・メンバーは、スイスのジュネーブに展示されているワイズ国際エンドウメント・ゴールデン・ブックのページに名前が掲載されます。それによって国際、地域、区の役員は、EFに貢献したことを表します。

EFの目的は、財政的な援助やワイズダム現在のと未来の目的、プログラムの拡大、総括してワイズダム発展の為に、働きかけるものです。

※※※ 枠 欄 ※※※

知っていましたか？

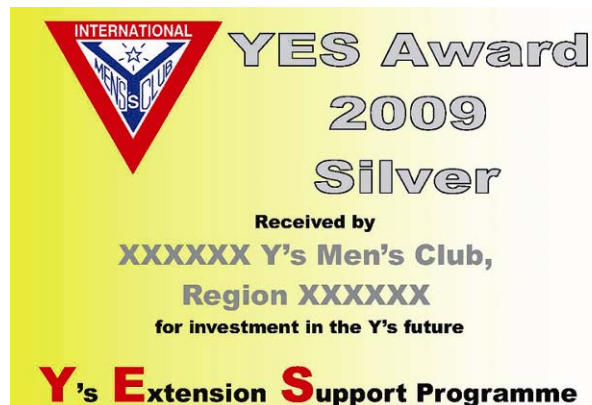
「ユース・ワールド」とは若者達のブリテンで、国際事務局（IHQ）のホームページ（www.ysmen.org）からダウンロードしてご覧いただくことができます。

“YES という名の新しい賞”

YES 国際事業主任

Poul-Henrik Hove Jakobsen,

YES という名の賞はワイズのエクステンション（新クラブ設立）を目指す目的の賞で、Y's Extension Support の頭文字です。YESプログラムの目的は新クラブ設立を進めるクラブ、会員を



支援するためのものです。このYESプログラムへの献金は新クラブ設立の支援に使われます。この献金に集められた資金の2/3は、その集められたエリアに戻され、そのエリアの中の区で使われま

す。

このYES賞の規定に基づき次の賞が出ます：一年度に10-25スイスフラン献金したクラブはYESブロンズ賞、26-50フランはシルヴァー賞、50フラン以上は金賞です。一年間に250フラン以上献金した個人は金賞、そして、この賞にはその人の名前も記入されます。一年に一度授与されます。

この賞の最初の受賞選考が終わりました。1. 受賞者は匿名希望なので公表されません。2. 二等賞はアフリカ、ガーナ、アックラ・ワイズのSamuel Creppy 会長へ。3. 三等賞はドイツ、エッセンワイズの国際会計 Klaus Dietzel です。彼らはこのYESという新しい賞の受賞者です。

あなたの“YES賞”への献金は新しいクラブ設立に役立ちます。

（編集者注：東日本区でも2000プロジェクトが進んでいます。）

ASF 奨学資金の新しい目標

ASF 国際事業主任サンディ・レイノルズ

2009/10 年度国際会長 Kevin のもとで働けるのは光栄です。2008/09のASF奨学資金の募金目標は23,200スイスフランでした。実際の献金額は残念ながら12,263フランで目標には達しませんでした。この募金は未達でしたが、代わりに Roll Back Malaria 事業は大成功でした。みなさんはこの事業に多大な寄付をしてくれました。

YMCA との協力関係はワイズの将来にとって大変重要です。ASF募金への協力は

YMCA への支援を表しています。Kevin 国際会長は6月をASF協調月間とし、

15,400フランがその目標です。達成可能を確信しています。ご支援を感謝します。

クリスチャン・エンファシス

イエス・キリストの教えに基づき

CE 国際事業主任デール・ファザリンガム

イエスキリストが教えられたことをメンバーが理解し、キリストを受け入れることで、キリストの言葉を行動に移すこととワイズの目的には書かれています。神はイエスを我々のモデルとしてこの世に遣わされました。イエスの生き方を見本として、イエスの教えを個人として、また世界的奉仕団体としても実行に移すことが望まれるのです。

我々は皆異なる背景、文化を持っていますが、同じような逆境に遭遇し、似た感情を持ち、喜怒哀楽を経験します。ですから我々は、イエスが教えられたこと、つまり全ての人は平等であり、お互いを尊敬し、愛し、受け入れるという真実にす

がるしかないのです。

イエスの教えは力強く、深く、英知に富み、真実なものです。何故ならイエスは「神」からの言葉を述べ、実行したからです。

「私の教えは私自身のもではなく、私を使わされたかたの教えである」(ヨハネによる福音書 7: 16)

イエスは「山上の垂訓」で、そこに集まった群衆に希望を与えました。「幸いなるかな」で始まる8つの聖句は(マタイによる福音書 5: 3-10)はイエスの教えであり、イエス・キリストの教えの全てを凝縮したものであり、ワイズメン国際協会の基盤をなすものです。

で精神的崩壊に挑む能力と責任があるのです。「塩」になることで、人生において味の悪いものも食べやすくすることができるのです。世界を全ての人のためにより住み良い場所とするための努力を促進するために、ワイズメン国際が「地の塩」となり「光」となるように神からの使

イエスの教えを効果的に実現するために、世界的奉仕団体としてのワイズメンのメンバーは何ができるでしょうか。

それは「あなた方は地の塩である」(マタイによる福音書 5: 13,14) という神の教訓を実行することです。

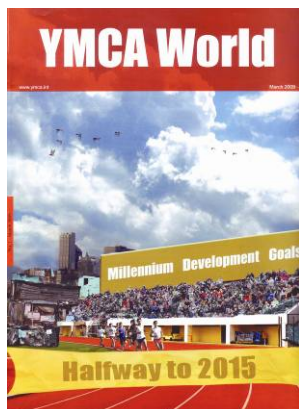
もし「地の塩」になることを受け入れられるなら、我々に多くの賜物が与えられ、ワイズメンの奉仕をより効果的に実行できるための力を与えられるでしょう。「塩」は劣化を止め、カビや腐食を阻止し、ものを保存するには無くてはならない成分です。我々は世界の塩になり、崩壊しつつある社会に挑戦できるのです。我々は地域的にまた世界的なレベルで、人間性の社会的、経済的、倫理的、そして命を受けているのです。もしワイズメンズ国際組織がイエス・キリストの教えを真に基盤としているのであれば、我々の生き方も変わってくるでしょう。

「私があなただを愛したように、あなた方も互いに愛し合いなさい」
皆 YMCA を支援しているのです。TOF は YMCA を通し



我等の献身を称えて

YMCA リエゾン レイシェル・R. リーグ



域事業、奉仕事業に YMCA の理想を提案するのです。ワイズメンの TOF プログラムに参加する時、私たちは

私たちがワイズメンズクラブ国際協会の会員となることを受け入れる時、私たちは YMCA への忠誠を認め、またワイズメンにふさわしい他団体を支援することを誓約するのです。地元の YMCA に奉仕していない人々のために、クラブ会員は国際協会の一部となってクラブの地域

て直接的な財政支援を行っているのです。

所属 YMCA の活動は皆さんよくご存じでしょうけど、その他に国際的な YMCA の活動は国際 YMCA 同盟で発行している「YMCA ワールド」で見ることができます。その内容はウェブサイト <www.ymca.int> の「Publication」をクリックすれば読めます。また印刷物を YMCA から入手できます。その中でワイズメン活動が各所で紹介されています。

ユースの正義活動支持、環境問題、移民労働者の窮状、ジェンダーや国際市民活動を記事に取り上げています。私たちも関心を持つべき最近の問題を提示してくれています。これらの項目を卓話者に話してもらえば、クラブ会員や近隣の人たちに

良い刺激になりクラブ活動の参考になります。項目から選んでクラブの事業にすれば地域奉仕の領域が広がるでしょう。事業を実施することにより、イエスの教えに基づき教えを取り入れることになります。

活動が奉仕に

南米地区編集者シルヴィア・レイエス・デ・クロッチ

ペルーリマのペブロリベYMCAに集まってきた若者が2004年以来、YMCAの奉仕活動の他生まれ育った地域での奉仕を続けていました。かくしてラテンアメリカ地域にジョージ・ウィリアムワイズメンズクラブが発足しました。平均年齢20歳のクラブはユースクラブではなく、正真正銘のワイズメンズクラブです。強い義務感をもってクラブ運営がなされています。YMCAの手を借りてブリテンを発行しています。国際会費は2008年のICM以降18歳から25歳に適応されている半額を収めており、地域及び国際の行事に参加しています。



例会は毎週土曜日の夜2時間です。自己研さんとクラブ活動の他にペルーYMCAの地域開発プログラムを担っています。地域

のニーズを聴いて奉仕しています。会長ジョセ・ラモスは最近の活動として診療所のペンキ塗りを報告しています。ペブロリベYMCAは8か所の診療所を開いています。診療所はアンデス山麓の乾燥地帯の未開発地区にあります。活動の原動力は地域の子供たちと住民の活動を歓迎する素晴らしい笑顔です。



直前国際会長としての回想

親愛なるワイズメンならびに友人の皆様

国際会長としての私に与えられた時間は365日という極めて短い時間でした。活用できる資源は個人、個人のイニシアチブ頼みであり、これは歴代の国際会長の場合と同じでした。人的資源が組織における最も貴重で予測し難い資産であることは指導的立場にある人物には周知の事実なのですが、私は異なった見方をしてみました。

人は何かに感動して初めて自ら行動を起こします。それは私の「分かち合いは微笑を持って」というスローガンと「希望の灯となろう」という主題から始まりました。ロシア、エジプト、アジア、アフリカ、ブラジル、アメリカ、カナダ、韓国、インドの会合でお目にかかったワイズの方々私に挨拶し、私のスローガンを実践し、私の主題を繰り返していただいた時の私の安堵感は言葉で言い表すことはできません。

87年のワイズ歴史が私に変化の為の思考の転換を迫ったのです。エクステンション(新クラブ設立)!エクステンション!!エクステンション!!!という私の呼びかけは世界中のワイズメンに心から受け入れられ、耳に心地よい行動を促す旋律であり、奉仕活動から会員増強へ活動の重点を変える宣言だったのです。しかしながら、会員増強の為に「エクステンション!」と繰り返し訴えることで活動の重点に変化が起きたでしょうか?我々が真によりよい奉仕を行おうとするなら、究極の目標は会員増強とエクステンションであるべきです。

私は国際会長として務めた任期の一瞬一瞬を楽しみました。どこに行っても王侯貴族であるかのごときもてなしを受け、私の言葉に熱心に耳を傾けてくださり、私のメッセージとビジョンを積極的に受け入れてワイズ運動発展の為に実践してくださいました。現在に至る一年間、ワイズの皆様に感謝を申し上げる機会はありませんでしたが、心の中では何度も何度も繰り返し感謝をしており、何故なら振り返ってみますと皆様は私にとって掛け替えのない特別な存在だったからです。

敬具

直前国際会長 V. S. Bashir

2010年の横浜国際大会の登録は
もうお済ごあが。

日程:2010年8月5日(木)から8日(日)
登録費 2010年4月30日までにお申し込みの方 50,000円
5月1日以降の方は 55,000円

ウェブサイトからの登録方法

<http://ic2010.yokohama-web.fc2.com/japan>
CS 国際書記長公募

韓国編集者 Shim Jai-sung

昨年四月韓国 Donghae 市にある Paek 眼科診療所に手術を待つ二人のモンゴル人女性がベッドに横たわっていました。その二人の女性は長年、老人性白内障と緑内障の合併症と先天性白内障を患

っていました。しかし、手術費用と未熟な医療チームのせいで韓国にやって来るまで、その問題を抱えたままの生活を続けざるを得ませんでした。オーロラワイズメンズクラブの会員である Koh Ki-bok 博士は見事に手術に成功し、二人の女性は明るい世界を再び取り戻して韓国の人々の情愛を感じ、文化交流を深めることができました。二人の回復の過程でオーロラクラブの会員は交替で自宅に招待したのです。彼女らは手術の大成功で新生活を享受することができる言い尽せない感謝の



気持ちと喜びを会員達と分かち合いました。二人のモンゴル人女性に対する医療奉仕活動は韓国の二つの国営放送局により全国放送されました。帰国直前にオーロラクラブチャーター31周年記念日に招待された二人は心から感謝の意を表し、会員全員にモンゴルの伝統的な住居であるゲルのミニチュアを贈りました。

ワイズメンズ国際協会「国際書記長」の 公募要項

- 勤務地：スイス・ジュネーブの国際事務局、
任期：当初5年間
資格：事務運営、政策・企画策定等の管理経験者
- 組織開発、指導者養成、若者参画に積極的に取り組む人
 - 効果的管理と報告業務、組織内部と外部の協力者との建設的関係を築き、効率的運営に積極的に挑む人
 - NGO、NPO団体の運営を理解し、事務局員の人事管理、財務の効率的運用の経験がある人
 - 国際ワイズメンズ協会、YMCAと他のNGO団体との積極的な関わりを築く人
 - 当団体の広報と各地の指導者養成に積極的に出かけることの出来る人
 - 英語が堪能であること、主な外国語にも理解できること

●宗教、言語、文化背景の違いに対し偏見なく接することのできる人

業務内容と応募日程の詳細は国際事務局にメールで問い合わせてください。

応募書類は丸秘扱いで、2009年12月15日までに国際会長に提出してください。

Mr Kevin Cummings, P.O. Box 2002, Springhill, Nova Scotia, Canada B0M 1X0
cummings.kevinc@gmail.com

Assistant Editors	
CANADA & CARIBBEAN Glenn MacDonald 114 Spring Street, Amherst, Nova Scotia, Canada B4H 1T1 email: mar.glen@ns.sympatico.ca	JAPAN Shigeru Murano 3-30-1, Eiaku, Suginami-ku, Tokyo 168-0064, Japan email: muranoshi@mg.point.ne.jp
AFRICA Tunji Makinde P.O. Box 2106, Lagos, Nigeria email: tunjimakinde@yahoo.com	LATIN AMERICA Silvia Reyes de Croci Charrua 2421, C.P. 11300 Montevideo, Uruguay email: deroeci@montevideo.com.uy
EUROPE Hans Jørgen Brill Aahavevej 83 8600 Silkeborg, Denmark email: brill@youmail.dk	SOUTH PACIFIC Bill Schmidt 15 Nandina Court, Strathdale, Vic., Australia 3550 email: william.schmidt2@bigpond.com
KOREA Shim Jai-sung Kyung Nam Apt.116-1003 Doma-2-dong, Seo-ku, Daejeon City 302-763 Republic of KOREA email: sjs@email.pcu.ac.kr	INDIA J Abymon Daywell House, No 6 4th Main, Dinnur Main Road, RT Nagar, Bengaluru 560 032, India email: abymonanj@dataone.in
USA Donna Ward 17909 Manhattan Place Torrance CA 90504, USA email: wdwdwww@socal.rr.com	

See our international web site at
<www.ysmen.org>
for regular information, news and downloads

ワイズメンズワールド
2009/10年度 第1号

発行者：東日本区理事 原 俊彦(東京サンライズ)
西日本区理事 鈴木 誠也(神戸ポート)

国際編集長 Allan Wallington
日本区翻訳・編集責任者 村野繁(東京目黒)
日本版翻訳者 奈良昭彦(名古屋グランパス)
山川一郎(姫路グローバル) 倉田正昭(京都)
谷川寛(大阪センテニアル) 谷本秀康(東広島)
長尾ひろみ(宝塚) 後藤邦夫(東京まちだ)
中田靖泰(札幌) 西村隆夫(東京センテニアル)
青木一芳(千葉) 今城高之(横浜つづき)

印刷 株式会社三浦印刷所